Q

令和　3年分　給与所得者の扶養控除等（異動）申告書

TA・RA・SA 該当に○をしてください。
適用期間は令和3年4月から令和4年3月までとみなします。

学生番号	1	1	3	1	6	0	0	0

所轄税務署長等 渋谷税務署 税務署長 市区町村長	給与の支払者の名称（氏名）	学校法人　青山学院	フリガナ あなたの氏名	アオヤマ タロウ 青山　太郎　㊞	あなたの生年月日	1999年6月24日
	給与の支払者の法人(個人)番号	※この申告書の提出を受けた給与の支払者が記載してください。 3 0110 0500 0353	あなたの個人番号	[redacted]	世帯主の氏名	青山　一郎
	給与の支払者の所在地（住所）	渋谷区渋谷４－４－２５	あなたの住所又は居所	郵便番号 252-0200 神奈川県相模原市中央区淵野辺 123-4	配偶者の有無	有・無
					あなたとの続柄	父

従たる給与についての扶養控除等申告書の提出
提出している場合には、○印を付けてください。

給与の支払者受付印

◎この申告書は、あなたの給与について扶養控除、障害者控除などの控除を受けるために提出するものです。
◎この申告書は、源泉控除対象配偶者、障害者に該当する同一生計配偶者及び扶養親族に該当する人がいない人も提出する必要があります。
◎この申告書は、2か所以上から給与の支払を受けている場合には、そのうちの1か所にしか提出することができません。

あなたに源泉控除対象配偶者、障害者に該当する同一生計配偶者及び扶養親族がなく、かつ、あなた自身が障害者、寡婦、ひとり親又は勤労学生のいずれにも該当しない場合には、以下の各欄に記入する必要はありません。

主たる給与から控除を受ける

区分等	(フリガナ) 氏名	個人番号 あなたとの続柄	個人番号 生年月日	老人扶養親族(昭27.1.1以前生) 特定扶養親族(平11.1.2生～平15.1.1生)	本年中の所得の見積額 非居住者である親族	本年中の所得の見積額 生計を一にする事実	住所又は居所	異動月日及び事由 本年中に異動があった場合に記載してください(以下同じ。)
A 源泉控除対象配偶者(注1)		[redacted]		[redacted]		円		
B 控除対象扶養親族(16歳以上)(平18.1.1以前生) 1		[redacted]		□同居老親等 □その他				
				□特定扶養親族				
2		[redacted]		□同居老親等 □その他				
				□特定扶養親族				
3		[redacted]		□同居老親等 □その他				
				□特定扶養親族				
4		[redacted]		□同居老親等 □その他				
				□特定扶養親族				
5		[redacted]		□同居老親等 □その他				
				□特定扶養親族				

C 障害者、寡婦、ひとり親又は勤労学生

□障害者

区分	該当者	本人	同一生計配偶者(注2)	扶養親族
一般の障害者				(　)人
特別障害者				(　)人
同居特別障害者	[redacted]			(　)人

上の該当する項目及び欄にチェックを付け、(　)内には該当する扶養親族の人数を記入してください。

□寡婦
□ひとり親
☑勤労学生

左記の内容：青山学院大学　文学部　英米文学科　4年

異動月日及び事由

(注)1 源泉控除対象配偶者とは、所得者(本年中の所得の見積額が900万円以下の人に限ります。)と生計を一にする配偶者(青色事業専従者として給与の支払を受ける人及び白色事業専従者を除きます。)で、本年中の所得の見積額が95万円以下の人をいいます。
2 同一生計配偶者とは、所得者と生計を一にする配偶者(青色事業専従者として給与の支払を受ける人及び白色事業専従者を除きます。)で、本年中の所得の見積額が48万円以下の人をいいます。

D 他の所得者が控除を受ける扶養親族等

氏名	あなたとの続柄	生年月日	住所又は居所	控除を受ける他の所得者 氏名	控除を受ける他の所得者 あなたとの続柄	控除を受ける他の所得者 住所又は居所	異動月日及び事由
		・　・					
		・　・					

○住民税に関する事項(この欄は、地方税法第45条の3の2及び第317条の3の2に基づき、給与の支払者を経由して市区町村長に提出する給与所得者の扶養親族等申告書の記載欄を兼ねています。)

住民税に関する事項 16歳未満の扶養親族(平18.1.2以後生)

	(フリガナ) 氏名	個人番号	あなたとの続柄	生年月日	住所又は居所	控除対象外国外扶養親族	本年中の所得の見積額	異動月日及び事由
1		[redacted]						
2		[redacted]						
3		[redacted]						